



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1910号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 渡辺 雅晃 幹事 黒田 一



広重版画より 三島 朝霧

第1973回例会

2013.4.4晴

司 会

澤村康子君

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 川名正洋君

会長挨拶

副会長 野田和秀君

渡辺会長が体調不良で急遽欠席の為、代理挨拶となります。ピンチヒッターですので、次の2件の報告をもって挨拶に代えさせていただきます。

1. 3月22日、23日のP E T S

次期ガバナーの志田洪顯氏は本当に早口でよく喋られ時間オーバーをものともせず、ロータリーの中核的価値観、すなわち「奉仕」「親睦」「リーダーシップ」「高潔性」「多様性」を率先して実行してゆくリーダーとして頑張れとのメッセージを我々にエネルギッシュかつ情熱的に発しておられた。次年度R I 会長はメッセージの中で中核的価値観こそがロータリアンとして私たちを定義づけるものと明言されている。次年度R I テーマのEngage Rotaryとはそうした価値観を日々生かす決意を我々に求めたものといえるでしょう。

2. 狭山中央ロータリークラブを訪問

若松会長と知り合いになり、一度メイクアップに来訪して下さいとのことで、3月26日家内共々クラブ例会に出席し、その後会長の会社〔大星電機株〕を見学させていただきました。このクラブ(会員数30名)は、12時頃集まって来て先に食事をして、12:30から1時間みっちり例会をやられている。卓話は外来卓話を多用されているようで、その日の卓話は、元日本テレビのアナウンサーであった山下末則氏で、箱根駅伝の報道の舞台裏での苦労話やら、スピーチの際心掛ける要件等々40分ほどの長さでしたが、皆聴き入っておられた。その日配布された週報も6ページに亘るものでした。(う

ち外来卓話が3ページ)。因みにビジターフィーは1500円でした。クラブによって色々ですね。これもロータリーの「多様性」として参考になれば・・・。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	35/52	67.31%	46/52	88.46%
今回	43/49	87.76%	会員総数	54名

欠席者 石井(彰)君、小野(正)君、諏訪部(敏)君、前田(博)君、渡辺(雅)君、渡辺(芳)君

幹事報告

幹事 黒田 一君

- ①伊豆中央RCより、5月より例会場変更のお知らせがありました。新会場はサンバレー富士にて、毎週火曜日で、毎回夜間例会、点鐘は夜19時になります。
- ②苗栗RCより交換中学生訪問に対するお礼状が来しております。
- ③緑の羽募金に対して、今年度も当クラブより、5,000円とする。

2012～2013年度
国際ロータリー会長
田中 作次

奉仕を通じて平和を

おめでとう

入会記念日 米山君
奥様誕生日 柳田君、瀬川君
結婚記念日 平野君

スマイルボックス

- ◆米山君、この4月に社長職を息子に譲り、やっと代表取締役会長になることが出来ました。
- ◆森崎君、三島はめ字文の会3月期、初めて入賞できました。早退します。
- ◆ゴルフ同好会、3月31日(日)ファイブハンドレッドクラブにてゴルフコンペを行いました。優勝藤江さん・準優勝千葉さん・3位柳田さんでした。次回は4月11日(木)にグランフィールドで行います。

委員会報告

例会場選考委員会

野田和秀君

去る3月28日の委員会の決議により、次年度の例会場はブケ東海三島に決定致しました。アンケートのご協力ありがとうございました。

会員増強維持委員会

委員長 千葉慎二君

ガバナーより、会員の職業分類表を簡素化せよとの指示があり、先日理事会で下記方針が承認されました。

- ①現会員の分類は基本的にそのままとする。
 - ②現在の分類のうち未充填の小分類については削除し、中分類にまとめる。
 - ③今回の改訂に際しては、現会員に変更の希望があれば何う。
 - ④今後入会する会員の職業分類については、改訂前の小分類を参考に新しく追加することもできる。
- 結果として現在390以上の分類が127分類となります。

卓 話

ロータリーの友について

クラブ広報委員長 佐々木雅浩君

今月はロータリー雑誌月間と言うことで、「ロータリーの友」4月号に、「ロータリ雑誌の仲間たち」として世界各地の地域雑誌や、「ロータリーの友」活用法と、質問に答えるQ&Aなどが掲載されております。

会員みなさまに、「ロータリーの友」の購読を通して、情報の共有と活用を促進されて、より一層ロータリーライフを楽しんでいただきたいと思います。

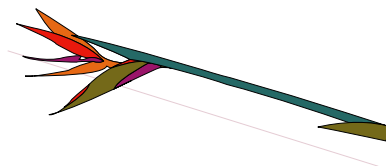
「ロータリーの友」の編集方針は、『ロータリー章典』に定められた「ロータリーの地域雑誌は、ロータリーのあらゆる面にわたってロータリーの綱領を推進するために存在する」を遵守し、編集方針を定めています。

「ロータリーの友」は、日本のロータリー34地区のロータリークラブ会員のための地域雑誌として、RIの方針や全世界のロータリアンならびにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介して、海外のロータリー活動に対する興味を高め、国内の地区・ロータリークラブおよび会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また国内外における各種ロータリー情報を掲載することにより、ロータリー精神の涵養、ロータリー活動の発展に寄与することを、発行の目的としています。

日本ロータリークラブの機関誌「ロータリーの友」が、創刊60周年を迎えました。

平成25年1月号に、2012-13年度国際ロータリー田中作次会長より、お祝いの言葉と、ロータリーの友編集長二神典子氏の「ロータリーの友60年のあゆみ」が掲載されております。

二神様の了解を得て一部コピーして参りましたので、本日の卓話は掲載文を読みながら、創刊時の苦勞から現在に至るまでの変遷を、皆様と一緒に訪ねてみたいと思います。



(週報担当：勝間田信輔)